

### 役員のスナップ

―地域に根差した活動を―

若葉地区更生保護女性会

会長 佐藤 敬子



平素より婦性会、野堀施設長さん、職員の皆様方には大変お世話になっております。

若葉地区更女は、33名と小さな輪ではありますが、年齢の功と英知で大きな輪になりますように会員一同頑張っております。

婦性会は若葉地区にございます。若葉地区更女は、何かお手伝いと思っております。折、在会者の夕食作り、又花壇のお手入れとの打診があり喜んでお受けし、平成17年4月より、調理は第二、第四火曜日、花壇は第一火曜日と計画し、4人一組の年間メンバー表を作成し、在会者の皆様には、日に彩りの綺麗な、量はボリュームがあり味は美味しい献立を心がけて調理をしています。

「食べることが命を支える源」「食事を作ることは人の心を作る」とのことです。「暖かい食事を温かい心で」をモットーにと思っております。在会者の皆様からのお便りに、お袋の味、ふるりの味と喜びが又リクエストも届いておりますので、旬の野菜の献立を取り入れて更に頑張つてと会員一同の喜びの声です。

花壇は、在会者の皆様方、又来訪者の方々が「ほっこり」と癒され心穏やかでいただけたらと

四季折折の花をと思っています。

平成29年度、第69回保護大会で、婦性会理事長感謝状を頂き会員一同大きな喜びでした。今後も関係団体との連携を重視し、更に充実した活動をしてまいりたいと思っております。



若葉地区更生保護女性会の皆様方が、婦性会の玄関前を季節ごとに彩ってくださります

### 千葉県婦性会に期待すること

千葉県保護観察所

統括保護観察官



清水 立典

今年の4月1日付けで千葉県保護観察所で千葉県婦性会の担当統括として勤務することにな

りました清水立典といっています。前勤務地は府中刑務所で、刑務所の出所者に関する業務を担当していました。この府中刑務所は、年間約1000人が出所するのですが、そのうち約2割の者は、行き先未定となっています。この中の多くの者は生活保護を申請するか、更生緊急保護の申し出をするものと思われま。千葉県保護観察所で更生緊急保護の申し出をすれば、千葉県婦性会で生活する可能性が高くなります。

また、最近では観察所からの委託以外にも、刑務所からの要請により、保護施設に入所する者もいます。特に高齢者に関しては、行き場のない者や、元々能力的な問題、認知機能の低下により、将来の見通しを立てることができないにも関わらず、様々な申し出を断り続けたものの、出所近くになって、不安になったり、出所直前まで、何も考えることができない等の理由で、突然間際になって保護を申し出る人が少なくありません。更に生活保護受給の手続きや施設に入所する予定であるものの、平日しか手続きができないため、休日だけ委託をお願いすることもありません。刑務所以外でも、再犯防止推進法に関しての入口支援業務の関係で、更生緊急保護対象者が増加してきて、検察庁から、施設に入所させて欲しい、という依頼が増えていきます。

このように従来のような、仮釈放者や更生緊急保護対象者以外にも、さまざまな形で千葉県婦性会へ、仮釈放者や更生緊急保護対象者以外にも、さまざまな形で千葉県婦性会へ、入所し